

平成 20 年度第 5 回沖縄県がん診療連携協議会・緩和ケア部会議事要旨

[日時]平成 21 年 3 月 3 日 (火) 18:00~21:00

[場所] 琉球大学医学部附属病院 管理棟 2 階・小会議室

[参加者] 12 名: 三木雅貴、伊藤昌徳 (ハートライフ病院)、島袋恭子 (中頭病院)、棚原陽子 (琉大病院)、神里長次郎 (代理: 沖縄県医務・国保課)、喜納美津男 (きなクリニック)、栗山登至 (アドベンチストメディカルセンター)、宮川真一 (県立南部医療センター・こども医療センター)、笹良剛史 (南部病院)、上田真 (県立中部病院)、足立源樹 (那覇市立病院)、増田昌人 (琉大病院)

[欠席者] 3 名: 宮城春代 (沖縄県看護協会)、友利健彦 (北部地区医師会病院)、中村清哉 (琉大病院)

[陪席者] 1 名: 桃原ひかる (琉大病院)

[報告事項]

1. 部会委員追加について (資料 1)

協議に先立ち、笹良部会長より、患者の家族・遺族を代表して三木雅貴氏が部会委員に加わったとの報告があり、協議会議長の代理で委嘱状が交付された。

2. 「平成 20 年度第 4 回沖縄県がん診療連携協議会・緩和ケア部会」議事要旨 (資料 2)

平成 20 年度第 4 回沖縄県がん診療連携協議会・緩和ケア部会議事要旨が承認された。

3. 「第 3 回沖縄県緩和ケア研修会 2008」報告 (資料 3)

上田委員より、資料 3 に基づいて平成 21 年 1 月 31 日 (土)・2 月 1 日 (日) に行われた「第 3 回沖縄県緩和ケア研修会 2008」について報告があった。

4. 「第 4 回沖縄県緩和ケア研修会 2008」進捗状況報告

友利委員の代理として笹良部会長より、平成 21 年 3 月 7 日 (土)・8 (日) に行われる「第 4 回沖縄県緩和ケア研修会 2008」について進捗状況が報告された。

5. 麻薬屯用について

栗山委員より、麻薬屯用の取り扱いの変更について報告があった。前回の部会で、“麻薬屯用に関して 10 回の使用制限の撤廃を求める”という提案がなされたが、その後、県医師会、国保連合、支払基金への問い合わせを行った結果、10 回の制限が撤廃され無制限に使用が許可されたとの報告があった。

6. 県内の緩和ケアにおける現状報告

栗山委員より、県内のホスピス病棟の利用状況について報告があった。アドベンチストメディカルセンターにおける 1 年間 (平成 20 年) の入院受入数・待機患者数を調べた結果、年間を通してほぼ満床が続いており、待機患者のうち毎月 4 名以上が亡くなっているとの報告があった。さらに、他 2 施設 (沖縄病院、オリブ山病院) に対しても同じような調査をするよう笹良部会長より依頼があった。続いて、島袋委員より、ホスピスの足りない現状について報告があった。ホスピスへ転院できない患者の約半分が急性期病院でなくなっているのが現状で、さらに、中北部では緩和ケアが必要な患者さんでも、ホスピスが遠いという理由で申し込みさえ行わない方が多いとの説明があった。

[協議事項]

1. 緩和ケアに関する現状調査について（参考資料1）（参考資料2）

県内全域に対して行う予定の「緩和ケアに関する現状調査」について、参考資料1、2を基に話し合いを行った。患者さんが自立できる情報、治療を自ら選択できる情報を公開することが必要であり、そのための現状調査であるべきとの意見があった。ホスピスに関する質問の項目については、フォーマット案を作成するよう島袋委員に依頼があった。情報の公開については、一般者向け、医療者関係者向けにそれぞれ行うことが承認された。

2. 今年度の反省、次年度の活動について（資料4）

資料4に基づいて、今年度の反省・次年度の活動内容について話し合いが行われた。次年度は目標を改め、新しく10項目を制定して活動していくことが承認された。

3. 次年度の緩和ケア研修会について（資料5）

次年度の「沖縄県緩和ケア研修会」は、6月、9月、12月、3月実施を目途に、日・日開催、日・月（祝祭日）開催を視野に入れて計画していくことが承認された。日程については、各拠点病院がそれぞれ案を出し、MLを使って今月中に日程案を報告することとなった。

4. 「第108回沖縄県医師会医学会総会」での部会発表について

増田委員より、平成21年6月14日に行われる「第108回沖縄県医師会医学会総会」において、緩和ケア部会の活動を発表してはどうかという提案があったが、前回の医学会総会で発表したばかりであるため次回に見送られた。

5. 次回開催日について

次回の部会は、平成21年4月7日18時より開催されることが承認された。